

1/3
(月)

市民の安全を守る誓い新たに 伊達市消防団出初式

陣屋通り

event

出 初式には消防団員約 700 人が参加し、陣屋通りを分列行進しました。須田市長は「地域住民の信頼に応えるため、一層精進くださるよう期待しています。」と挨拶。伊達市消防団の堀幸司団長は「近年



さまざまな災害が発生している。防火防災の要として、地域を守るために献身的に活動します。」と述べました。

1/12
(水)

旧白根小愛称「弥平ふるさと館」 に決定！名付け親に記念品贈呈

伊達市役所

ceremony

市 では旧白根小学校を、交流館と運動施設、健康づくり施設を兼ね備えた「伊達市ウェルネスサロン白根」として整備しています。愛称は、応募 157 件の中から梁川町在住の大都登治さんが考えた「弥平ふるさと館」



に決定しました。大都さんには須田市長から記念品が贈られました。弥平ふるさと館は今年 4 月に供用を開始する予定です。

1/14
(金)

願いを込めて一つ一つ丁寧に 園児がだんごさしに挑戦

月館認定こども園

event

無 病息災や五穀豊穡を願って小正月に行われる伝統行事「だんごさし」を体験したのは、3 歳～5 歳の園児 31 人です。だんごを自分たちの手で丸めたあと、茹でるところを見学し、園長先生からだんごさしの由来



を教わりました。園児たちは「朝起きられるようになりたい。」などと願いを込めながら、ミズキの木にだんごをさしました。

12/17
(金)

自慢のあんぽ柿を PR 東京・大田市場でトップセールス

大田市場

event

伊 達市の特産品「あんぽ柿」を全国に広めようといわれたものです。須田市長はあんぽ柿の歴史や特長を説明し、「今年は遅霜により出荷量が減少していますが、例年以上においしいあんぽ柿ができました。」と、



自慢の特産品をアピールしました。感染症対策のため試食は行わず、市場関係者にあんぽ柿とパンフレットなどを配りました。

12/17
(金)

旧富成小を活用 障がい児通所支援事業所を集約

旧富成小学校体育館

ceremony

旧 富成小学校を利用した障がい児通所支援事業所等の開所記念式典が行われ、伊達市社会福祉協議会の本谷直人会長が「事業所が集約でき、連携して支援を進めることができます。」と謝辞を述べました。富成地域



まちづくり振興会の湯田健一会長は「学校に明かりが灯るとうれしい。」と開所を歓迎。式典後、地域の人たちが内覧しました。

12/22
(水)

市民の安全確保が最優先 市役所で防犯訓練を実施

伊達市役所

training

多 数の来庁者が訪れる市役所において、万が一の事態が発生した場合に備え、伊達警察署指導の下、防犯訓練を行いました。不審人物が窓口に来たときの対応方法や、さすまたなどの防犯用具の正しい使用



方法を学びました。今後も市役所全体で防犯意識を持ち、市民の皆さんが安心してご来庁いただけるよう努めます。